

# 第10回 医療機器の流通改善に関する懇談会

2023年11月2日

(一社) 日本医療機器販売業協会 (JAHID)

(一社) 日本医療機器テクノロジー協会 (MTJAPAN)

(一社) 米国医療機器・IVD工業会 (AMDD)

**JAHID**

Japan Association of Health Industry Distributors



**MTJAPAN**  
Medical Technology Association of Japan

**AMDD**

日本を、もっと健やかに。

# 目次

---

1. コスト上昇による今後の医療機器価格 (JAHID)
2. 緊急配送のコストと頻度 (JAHID)
3. 緊急配送のコストと頻度に対する課題と対応 (JAHID)
4. 離島・僻地での2024年問題の影響 (MTJAPAN)
5. 軽微な外装ダメージの受容について (AMDD)

# 1. コスト上昇による今後の医療機器価格

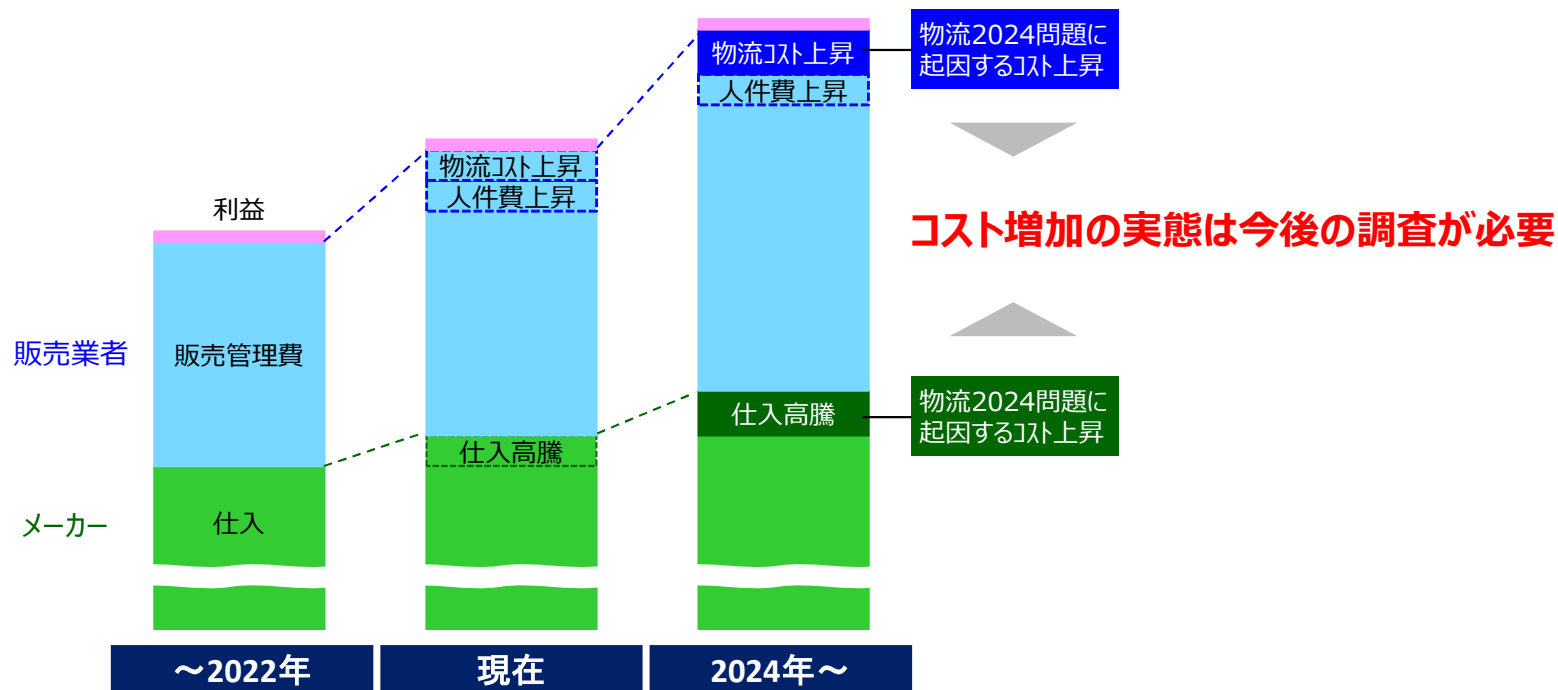
・2024年問題にあたり、医療機器の販売額への価格転嫁がどれくらいできるのか具体的な数字を出してほしい

## 医療機器価格の現状

- ・メーカーにおける製造コスト、物流コスト等の上昇により医療機器の仕入価格はすでに上昇し、今後もその傾向が続くと予想される
- ・販売業においても物流コストや人件費上昇により販売価格に転嫁せざるを得ない状況
- ・医療機器の流通安定化のために人材確保と人材育成は重要であるが、人材確保は年々厳しくなっている

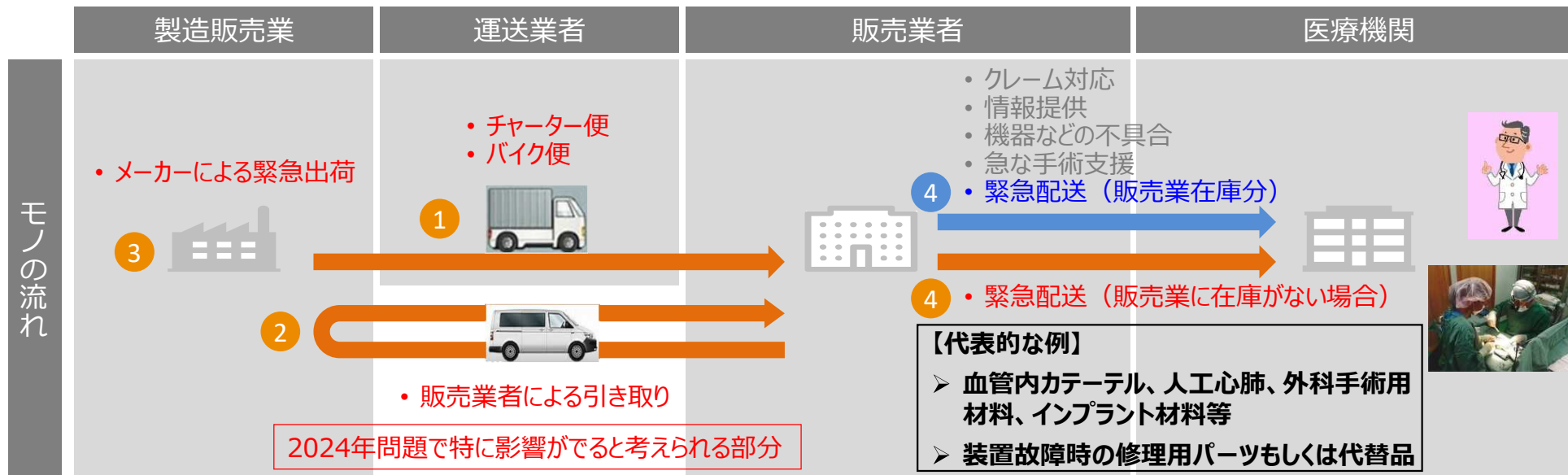
## 2024年以降の医療機器価格

- ・2024年問題を契機に物流コストは大幅に高騰することが予想される
- ・人材確保のために人件費のさらなる上昇は不可避
- ・経営状況悪化により安定供給のための設備や人材への投資が困難になると、非常時の医療機器流通に対応できなくなるだけではなく、平常時の安定供給にも影響を及ぼす恐れがある



## 2. 緊急配送のコストと頻度

- どのような品目が緊急対応の対象になりうるのか？
- 緊急配送がどういふ分野で実際に起こっていて、どのようなコストが生じているのか？



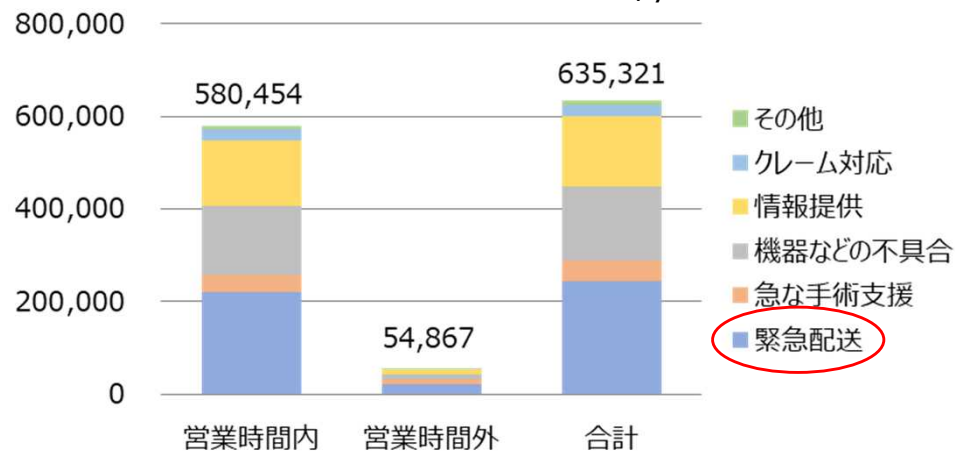
### 【緊急配送にかかっているコスト例】

- ① チャーター便(軽四輪)<sup>※1,※2</sup>…12,000～25,000円程度（50～100km）
- ① バイク便<sup>※2</sup>…10,000～20,000円程度（50～100km）
- ② 販売業者による引き取り…人件費、高速道路代、ガソリン代等
- ③ (一部の)メーカーによる緊急出荷料…1,000～3,000円程度
- ④ 緊急配送に係る人件費等…人件費（時給2,000～3,000円×時間）

※1 短期貸出品のように物量が多くなる場合にはさらに高額になる

※2 遠距離になればさらに高額になる

【推計年間緊急対応件数<sup>※3</sup>（件/year）】



※3 回答企業33社のアンケート結果をもとに全医療機関への1年間の緊急対応件数を推計

※ 令和2年度実施の協会内アンケート結果より（回答33社）

コストおよび頻度の増加の実態は今後の調査が必要

### 3. 緊急配送のコストと頻度に対する課題と対応

緊急配送のコストと頻度の増加への対応について、早期発注や在庫増量等により緊急配送を未然に防止するとともに、コストについては業界全体で公平な負担をお願いしたい

課題	対応（実施主体については資料1 スライド10、11を参照）
<ul style="list-style-type: none"><li>2024年以降は配送リードタイムの長期化により、<b>緊急配送の頻度が増加</b>するのではないか</li><li>チャーター便やバイク便のドライバーがすぐに確保できず、<b>緊急配送に対応できない可能性</b>がでてくるのではないかと</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ <b>配送リードタイム延長を加味した早期発注</b> 現在の運用と比較して、医療機器の配送・納品に長いリードタイムがかかるため、医療機関がリードタイムを加味し、1日でも早い発注をすることで、緊急配送の増加防止に繋がる</li><li>➤ <b>緊急配送を増やさないための在庫確保</b> 納品日数が従来よりも延びることや緊急の手術・検査に対応できるよう、適正な在庫を有することで、緊急配送の増加防止に繋がる</li><li>➤ <b>まとめ買いの促進</b> 緊急時も見据えた発注の依頼などにより、前もっての大量購入を促進することで、緊急配送の増加防止に繋がる</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>2024年以降は緊急配送に関わる運送会社の値上げにより、<b>緊急配送のコストが増加</b>するのではないかと</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ <b>物流コスト（緊急配送）の公平な負担</b> 2024年問題を起因として生じる物流コスト（緊急配送）の増加について、サプライチェーン全体（医療機関、メーカー、販売業）で公平にコストを負担していく</li><li>➤ <b>物流コストの見える化の促進</b> 取引先に対し、物流コスト（緊急対応）に係る情報を適切に提供することで情報の透明化を行う</li></ul>

## 4. 離島・僻地での2024年問題の影響

- 過疎地域と密集地域では影響が異なるのではないかと
- 過疎地はどのような場所で問題が起こりうるか整理した方がよい

離島・僻地については、2024年問題において都市部と同様にリードタイム延長の影響を受けるが、離島・僻地特有の+aの影響は小さいと考えられる

### 離島・僻地までの配送の現状

- 現状においても都市部における配送リードタイムより多くの時間がかかっている
- 医療機関への納品は週1～3回程度となっている
- 自社納品だけでなく宅配便を利用することもある

### 2024年問題の影響

- メーカー～販売業者のリードタイム延長は都市部の医療機関と同じ影響を受ける
- 販売業者による自社納品の場合、販売業者～医療機関は特に変わらない
- ただし、販売業者～医療機関で宅配便を利用している場合には影響を受ける可能性がある

## 5. 軽微な外装ダメージの受容について

・外装ダメージについて、どこまで許されるか？

2024年問題に起因する輸送品質の低下により、外装ダメージが増加する可能性があるが、内部の製品に影響がないと思われる軽微な外装ダメージや汚れに関しては、返品・交換の削減にご協力をお願いしたい

【納品の受容をお願いしたい外装ダメージ例】

